工業「　実　習　」（選択科目）	単位数	２単位
	学科・学年	建築科・第２学年

1　学習の到達目標等

学習の到達目標	1　ＪＷ－ＣＡＤの基礎・基本を応用し、実際の建築物や図面から照らし合わせて、建築物の平面図や施工図の描き方を理解する。 2　ＣＡＤ実習による作図や建築物の外観模型を製作することにより、製図技術や表現方法を習得し、創造力を養う。
使用教科書・副教材等	建築設計製図（実教出版）・新版建築実習１・２（実教出版）

2　学習計画及び評価方法等

（１）学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考査範囲
1学期	1　技能検定３級大工工事 （１）鋸・鑿・鉋の基本 （２）ほぞの作成 （３）口脇練習 （４）墨出し練習 （５）技能検定課題の制作	4 5 6 7	・基本的な図面の作成を行うことにより、理解力や表現力を学習する。 ・道具の正しい使い方を理解させる。 ・怪我がないように慎重かつ丁寧に作業をさせる。	
2学期	2　ＣＡＤ検定２級 （１）ＣＡＤ検定の説明 （２）３級模擬試験の練習 （３）２級模擬試験の練習	8 9 10 11 12	・全体で行う実習よりもさらに細かく、実践的なＣＡＤ実習を行い、より高度な知識を習得する。	
3学期	3　福祉住環境コーディネーター３級	1 2 3	・バリアフリーやユニバーサルデザインの意味を理解させる。 ・人間が使いやすい家を設計させる。	

（２）評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・集中して作業に取り組み、自主的に理解しようとしているか。 ・能率的に作業を進め、提出期限を守れているか。
思考・判断・表現	・ＣＡＤシステムや建築の専門的な知識と技術を活用して、創意工夫する能力を身に付けているか。 ・建築物の立体的構成や工程の流れについて理解しているか。
技　能	・ＣＡＤ、建築施工、ものづくりなどの専門的な技術を身に付け、作業を合理的に計画し、適切に処理できるか。
知識・理解	・建築物の立体模型の製作に応用できるか。 ・工程を理解し、道具の取り扱いや作業の安全を確かめ、危険防止につとめることができるか。

・成績評価はテストやレポートの評価を基準として、上記の４つの観点を含めた授業の諸活動（課題作品・実技テスト）、授業態度や提出状況、出席状況などにより総合的に評価する。特に提出期限については重視する。
・学年の成績は、１学期から３学期までの成績をもとに総合的に判断して評価する。

3　確かな学力を身に付けるためのアドバイス

・建築実習の内容を十分に理解し、根気強く丁寧にかつ正確に作業をしなければならない。また、互いに協力し合う態度を養い、社会で求められるいろいろな技術を体験的に理解し身に付けましょう。
・建築実習では、各テーマごとにレポートや課題作品の提出が必要になります。内容に不足や誤りがないかを確認した上で、期限までに提出することも大切です。